

認定介護福祉士養成研修のご案内

認定介護福祉士に期待される役割と獲得する実践力

地域とかがわる力

- ・家族に対して、生活環境の整備、相談援助等ができることで、家族の不安を軽減し、適切なかわりを支援する。
- ・地域におけるボランティア、家族介護者、介護福祉士等への介護に関する助言・支援ができる。
- ・施設・事業所の介護力を地域の人々のために活用できる。
- ・介護に関する地域ニーズを把握・分析することができる。

地域における介護力向上のための助言・支援をする者

十分な介護実践力

- ・どのような利用者に対しても、最善の個別ケアの提供ができる。
- ・リハビリテーション等の知識を応用した介護を計画・提供でき、利用者の生活機能を維持・向上させることができる。
- ・認知症のBPSDを軽減させることができる。
- ・障害特性に応じた介護の提供ができる。
- ・心理的ケア・終末期ケアを実践できる。

事業所や施設介護サービスマネージャー

- ・他職種からの情報や助言を適切に理解し、介護職チーム内で共有し、適切な介護に結びつける。
- ・利用者の日ごとの生活状況と、それを踏まえた介護の実践内容を、理論立てて他職種に伝える。
- ・利用者の状態像の変化に気づき、その状況を適切に他職種に伝え、連携を図ることで、利用者の状態像を最小限に止めることに寄与する。

他職種とそのチームと連携・協働する力

介護サービス提供における連携の中核となる者

- ・介護職チームの管理・運用を行い、介護サービスマネジメントや人材育成に責任を持ち、上司等にも働きかける。
 - ・介護計画に利用者や家族のニーズが反映されるようアドバイスをするとともに組織的に介護サービスが提供されるように取り組む。
 - ・介護の根拠を説明し、指導するとともに内容を習慣づける。
 - ・記録様式などサービス管理に必要なツールを改善・開発できる。
 - ・介護職チームの意識改革、サービスの提供方法や提供体制の改善、研修プログラムの先生等を行い、新しい知識・技術・実践をチームに浸透させることができる。
- 介護職チームのリーダーへの教育・指導、介護サービスのマネジメントを行う力

一般社団法人京都府介護福祉士会において「令和5年度認定介護福祉士養成研修(4期生)」を開催します。約3年間の継続研修システムとなっており、介護福祉士資格取得後のスキルアップを図る目的に「認定介護福祉士認証・認定機構」が構築した研修システムです。認定介護福祉士になるためには、必要な知識や技術などを獲得するため、認定介護福祉士養成研修を受講し、全科目(22科目)を修了(単位取得)する必要があります。詳細は「認定介護福祉士認証・認定機構」ホームページをご覧ください。(別紙 研修プログラム参照)

研修方法

zoomによるオンライン形式(オンデマンド形式が加わる場合もあります)

研修期間

令和5年8月13日～令和7年10月頃(予定)各月2日間程度

受講料

日本介護福祉士会 会員(京都府及び各県) 8,000円(1日間)
非会員 16,000円(1日間)
科目毎で日数が異なります、科目毎で納入してください。
※この機会に日本介護福祉士会に入会していただくと会員価格となります

受講要件

- ① 介護福祉士資格取得後実務経験5年以上
- ② ファーストステップ研修を修了していること
- ③ 認知症介護指導者を修了していること
(②③はどちらかの修了証書があればよい)
- ④ 研修プログラムで黒の塗りつぶし数字は受講要件はなし

申込方法

下記事務局までご連絡ください。または「京都府介護福祉士会ホームページ・研修案内コーナー」から申し込んでください。kyoto-kaigofukushi@trust.ocn.ne.jp
申込期限:令和5年6月15日(木)

問い合わせ先:主催 一般社団法人京都府介護福祉士会事務局

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 ハートピア京都 6階

電話 075-708-6461 FAX 075-708-6462